

ごっこ遊びを展開させる

対象：2～5歳 作成者：小城亜矢子 作成日：2018年2月6日

●保育のねらい

- ・作品展・なかよしフェスティバルで経験した宝石とりごっこ遊びを楽しむ。
- ・取った宝石を用いて、自由な製作をする。



●保育の振り返り

取った宝石を保育者と一緒に数えたり、自分で数えながら好きな宝石を選びました。(数量への関心) どんなものを作りたいか、何がどれだけいるのか自分で考え、たくさんの素材の中から選びました。始めの頃は何を作りたいか、何が必要か、失敗したらどうしようと考えてしまって動けなかった子どもたちが、今では発想豊かにイメージを広げ、工夫し、試して、やり直してと時間いっぱい楽しむようになりました。(思考力の芽生え)出来上がった作品は、剣やキーホルダー・ネックレス・髪とめ・髪ゴム・指輪・船・小物・ロケットなど様々です。(豊かな感性と表現)年間通して製作を楽しんできたので、ハサミやのりの扱い方、テープの切り方、素材に合わせた貼り付け方法、素材の適量加減なども上手になり、より創作意欲が広がっています。